

岩手県野田村の支援・交流活動報告（2015年12月18日）

本日は、震災以降毎年実施している弘前市民からのクリスマスプレゼントを野田小学校に届ける年末の恒例の活動です。5年目となる今回は、秋晴れのような穏やかな天候の中、野田村に向かって出発しました。今年は、学生事務局から2名の学生さんがサンタさんとして勤めてくれました。本年もトナカイ役は李が担当しました。

本活動は、震災直後からのチームオール弘前の活動を知った弘前市民の方から、体が不自由な自分でも参加できる活動はないかと問い合わせがあり、プレゼントは弘前でも出来る活動で、市民の皆さんが参加できるのではないかとはいじめた活動でした。本年も、弘前市民の皆さんから野田小学校の全校生の192名分のプレゼントが寄せられました。また、学生事務局からは本年も大学祭に行った野田村物産展の収益金で、文房具やお菓子などの詰め合わせを準備してくれました。市民や学生の皆さまのご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。



暖冬のお陰で、道路状況も良く、予定より少し早めに野田小学校に到着しました。しかし、予想外のことに、小学校前の道路が工事中で、プレゼントいっぱいの車が野田小学校まで上がれず、小学校前のきつい坂を荷台にのせて、運ぶことになりました。なんとか2往復で、プレゼントを小学校まで運ぶことが出来ました。

学校では、新しく赴任なさった校長先生が我々を出迎えてくださいました。先生からは震災以降このように継続して素敵なプレゼントを届けてくださり、本当にありがとうございましたとお礼とねぎらいのお言葉を頂戴しました。

校長先生との談話の後、早速プレゼントを開封して、仕分けを行いました。弘前市ボランティアセンターの皆様が書いてくださったプレゼントの内容に沿って、男女と低学年と高学年に分けて、プレゼントを仕分けしました。

まず、最初は一年生の教室にプレゼントを届けました。教室のドアを開けて、サン

タさんが入った途端、「わー、サンタさんだー！！」大きな歓声があがりました。サンタさんからプレゼントをもらおうと、「ありがとうございました」と満面の笑みでお礼を言ってくれました。担任の先生からは、見たことのない笑顔ですねとほめてくれました。全員にプレゼントを届け終わると、全員で大きな声で「ありがとうございました。メリークリスマス」とサンタさんを見送ってくれました。



高学年になると少し落ち着いていて、中には「今年も来てくれた。ありがとう。」「学習支援のお兄さんだ。ありがとう」とサンタさんに変装した学生事務局の名前を覚えていました。6年生の教室では、引率の李からこの活動の概要について説明を行いました。6年生の皆さんからは、「ありがとうございました。また、来てください」と心のこもった挨拶をいただきました。帰り際、校長先生からは、「小学校としても多くの方々への感謝の気持ちをなんらかの形で表したいと思っているので、是非これからも見守ってください」とお言葉を頂戴しました。



野田小学校の後には、中学校仮説や泉沢仮説、米田地区仮説、チーム北リアス現地事務所、野田村社会福祉協議会、児童センター、南浜コミュニティセンター、野田村役場などに一年間の感謝の気持ちを込めて、年賀状をお届けしました。昨年一年が大変お世話になりました。良いお年をお迎えください。2016年も引き続き、よろしく願いいたします。

弘前大学・李永俊